

職員の負担を軽減する介護ロボット シルエット見守りセンサ「WOS-321」を発売

～ベッドから一人での移動を捉え、転倒や徘徊を未然に防止～

キング通信工業株式会社(本社:東京都世田谷区、代表取締役:茂木俊介、以下「当社」)は、シルエット動画で動きを見守り、介護施設や医療機関で働く職員の負担を軽減する介護ロボット、シルエット見守りセンサ「WOS-321」を2022年1月11日(火)より発売いたします。



WOS-321 誕生の背景

当社では、入所者・入院患者が転倒や徘徊に至るのは、ベッドから一人での移動がきっかけと捉え、この移動を未然に防ぐため、シルエット動画を利用したベッドからの移動を見守るシステムを提供してきました。2014年に最初の機種を発売後、累計約500施設に導入、約3,200台以上稼働しています。今回新たに発売する製品、シルエット見守りセンサ「WOS-321」は、従来機の機能を引き継ぎながら、実際にご利用頂いている職員からの声を形にしています。

WOS-321 の特長

■見守られている方への配慮

カメラで撮影した映像ではなく3Dセンサにて、プライバシーへ配慮したシルエット動画にしています。シルエット見守りセンサ本体は、「センサLED部の赤色光を視認できない」、「無音」、「電源ランプの消灯モード」といった見守られる方の睡眠を妨げないように配慮しています。

■職員の負担を軽減

・シルエット見守りセンサからのお知らせ

シルエット見守りセンサ本体が、見守られる方の動きを「起き上がり」、「はみ出し」など段階を判別してお知らせ。見守りモニタに表示されるアイコンと通知音楽が異なりますので、直感的に判断できます。

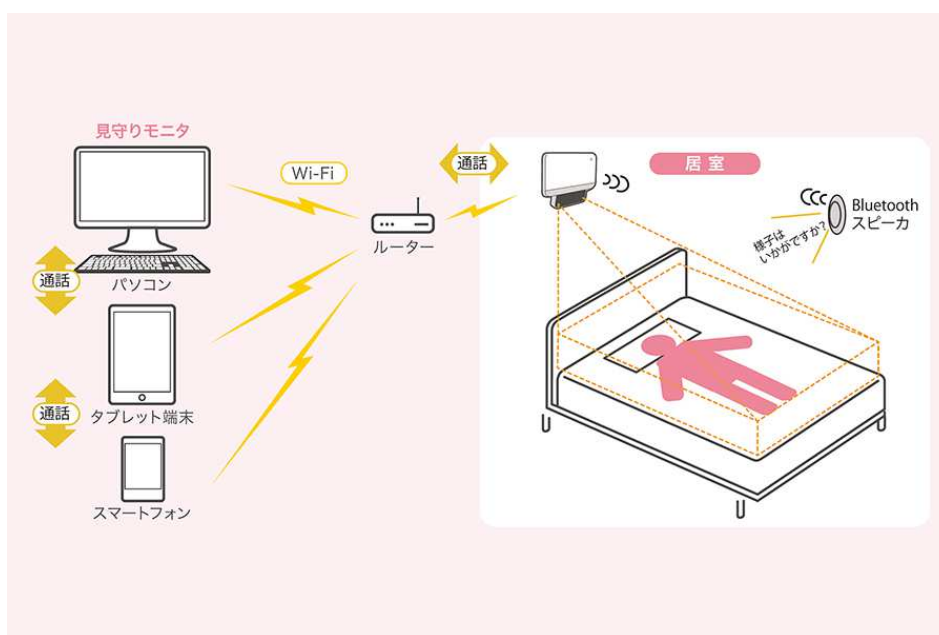
・見守られる方が分かる

シルエット動画により、リアルタイムで見守られている方の様子を把握できます。また、シルエット見守りセンサが検知と判定した箇所を枠で囲って表示。何に反応したか一目で分かります。



WOS-321 利用イメージ

シルエット見守りセンサ1台から始められる、年間ライセンス費用も発生しないことから、施設の規模に合わせた見守りシステムを構築できます。見守りシステムは、シルエット見守りセンサ、ネットワーク、見守りモニタから構成されます。見守りモニタは、パソコン、タブレット端末、スマートフォン用のアプリケーションです。離れた場所からでも見守られている方の状況をリアルタイムで把握できるため、怪我につながる前に気付くことができます。職員による必要のない訪室が減ることで、見守られる方の睡眠の質が向上、職員の身体的負担が少なくなります。



【WOS-321 製品概要】

- ・品名: シルエット見守りセンサ
- ・型式: WOS-321
- ・センシング技術: 赤外線 LED (TOF 方式)
- ・電源供給: 専用 AC アダプタ、または PoE+ IEEE802.3at (クラス 4) 以上
- ・有線 LAN: 10Mbps/100Mbps/1000Mbps、1 ポート
- ・無線 LAN: IEEE802.11a/b/g/n/ac (Wi-Fi) 2.4GHz/5GHz 帯

- ・Bluetooth 無線: Bluetooth V4.2
- ・寸法: 125(H) × 170(W) × 100(D)mm
- ・質量: 約 440g (AC アダプタ含まず)
- ・定価: 300,000 円+消費税
- ・製品情報サイト: <https://www.king-tsushin.co.jp/product/wos-321/>

【キング通信工業株式会社 概要】

会社名: キング通信工業株式会社

所在地: 東京都世田谷区野毛 2 丁目 6 番 6 号

代表者: 代表取締役社長 茂木俊介

設立: 昭和 43 年 3 月 4 日 (1968 年 3 月 4 日)

事業内容: セキュリティ機器・システムの研究開発・設計・製造・販売ならびに技術サービス

企業ホームページ: <https://www.king-tsushin.co.jp/>

【本リリースに関するお客様からのお問い合わせ先】

キング通信工業株式会社コーポレートサイト お問い合わせフォーム

<https://www.king-tsushin.co.jp/inquiry/>

※本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

※本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上